

監修／文部科学省教科調査官

2021年度版

教科指導と 6/7月 アイディア

五年生

- 国語科** 事実と感想、意見などとの関係や文章全体の構成を捉えて「要旨のつかみ方解説書」をつくろう
我が町のSDGs実現に向けた取組を調べて報告する文章を書こう
- 算数科** 小数のわり算
合同な図形
- 体育科** 打って！ 守って！ ティーボール
～ボール運動 ベースボール型～
ゆったりストロークで、記録が伸びる！
～水泳運動～

六年生

- 国語科** 具体的な事実や考えをもとに、提案する文章を書こう
本は友達
- 算数科** 分数のわり算
比
- 体育科** 体の動きを高めよう！ Let' s try.
体づくり運動 ～体の動きを高める運動～
続けて長く泳ごう！
水泳運動 ～クロール・平泳ぎ・安全確保につながる運動～

5年6月 国語科

領域 C 読むこと

単元名

事実と感想、意見などとの関係や文章全体の構成を捉えて「要旨のつかみ方解説書」をつくらう

教材名「見立てる」

光村図書

執筆 熊本大学教育学部附属小学校教諭 田邊友弥

編集 茨城大学教育学部附属中学校副校長 菊池英慈

文部科学省教科調査官 大塚健太郎

年間指導計画

4/5月	なまえつけてよ きいて、きいて、きいてみよう
6/7月	見立てる みんなが過ごしやすい町へ
8/9月	たずねびと よりよい学校生活のために
10/11月	固有種が教えてくれること あなたは、どう考える
12/1月	想像力のスイッチを入れよう この本、おすすめします
2/3月	提案しよう、言葉とわたしたち 大造じいさんとガン

1 単元で付けたい資質・能力

①身に付けたい資質・能力

事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握する力を育成します。特に、事実と感想、意見を区別したり、つながりを捉えたりしながら文章全体の構成を捉え、筆者の考えをつかんでいくことが必要になります。そこで、読み手がどのような言葉に着目したり関連付けたりしながら要旨を把握したのかを「解説書」にまとめることで、事実と感想、意見の関係や文章全体の構成に目を向けさせていきます。

②言語活動とその特徴

「要旨のつかみ方解説書」をつくる」という言語活動を位置付けます。「見立てる」における要旨および「事実と筆者の考えのつながり」や「文章全体の構成」、「繰り返しで表れる表現」等、子供たちが要旨を捉えるために着目したポイントについてまとめます。

「見立てる」における要旨とは、「見立てる」という行為は、想像力に支えられており、その想像力は、あや取りでできた形の名前が地域や国ごとに異なることから分かるように、私たちを育んでくれた自然や生活と深く関わっている」と捉えることができます。前述のような要旨を捉えるためには、六段落に簡潔に表現されているように、「筆者の考え」を捉える必要があります。

2 単元の展開（7時間扱い）

主な学習活動

次時	1	2～6	7
	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 学習の見通しをもつ。 ・ 「〇〇解説書」や「〇〇読書術」のような実物を見る。 ・ 既習教材を用いて実際に要旨を考えたり、教師が作成したモデルを見たりすることで、体験的に要旨を捉える。 ・ 学習課題を提示し、単元全体の見通しをもつ。 <p>(アイディア③) (アイディア①)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 「要旨のつかみ方解説書」をつくる。 ・ 学習課題を達成するための問いを立て、解決に取り組む。 ・ 要旨や要旨を捉えるためのポイントをまとめる。 <p>(アイディア②)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 「要旨のつかみ方解説書」を読み合い、感想を伝え合う。 ・ 「分かりやすい」や「納得できる」表現（文章、図、イラスト）だと思つたところについて感想を伝え合う。

指導事項【知識及び技能】(1)オ

〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)ア 言語活動例 ア

さらに、その「筆者の考え」を伝えるために、どのような事実が挙げられているのか、「事実と筆者の考えのつながり」を捉えていく必要があります。それが、あや取りで作った形と名前の地域や国ごとの違いを取り上げて二～五段落に書かれています。また、見立てるといふ行為を支えている「想像力」というキーワードも落とすことはできないでしょう。

このような要旨の捉え方について、子供自身が気付いていくことを大切にしましょう。

アイディア③

既習教材やモデルの活用で
ポイントを明らかにする

深い学び

単元導入では、教科書を用いて「要旨」という学習用語について確認した上で、既習教材「おにごっこ」（光村図書二年下）を用いて、要旨を百字以内でまとめる活動を設定します。書くことができたならば、自分が書いた要旨と「なぜそのような要旨にしたのか」について話し合います。その中で、要旨をつかむ時のポイントについて子供たちの発言を基に価値付け、要旨をつかむためのポイントを明らかにしていくとよいでしょう。

しかし、実際には、「事実と筆者の考えのつながり」や「文章全体の構成」等のポイントに気付けない、あるいは要旨を書くこと自体が難しいという子供たちもいるでしょう。そこで、教師が作成した「おにごっこ」を用いた「解説書」のモデルを提示することで、単元で取り組む言語活動のイメージをもたせるようにします。

要旨のつかみ方解説書

※どのような思考を働かせて、要旨をつかんだのか、そのポイントをまとめます。

【おにごっこ】の要旨

おにの人や逃げる人のことを考えてきまりを作ったり、組み合わせたりするといった遊び方を工夫することで、だれもが「楽しかった」と思えるようなおにごっこにすることができる。

ポイント①

「事実と筆者の考えのつながり」を考える。

ポイント②

筆者の考えとだれもが「楽しかった」……。

ポイント③

「文章全体の構成」から考える。
「繰り返し使われている言葉」を考える。

アイディア①

学習課題を基に、毎時間の
ふり返りを行う

主体的な学び

粘り強く問いの解決に取り組みながら、よりよい「解説書」をつくっていくためには、毎時間の振り返りが大切になります。その際、単元導入で示した学習課題を基に振り返らせるようにしましょう。もっと言うと、「納得のいく問いの解決ができたか」「納得のいく『解説書』がかけたか」ということを振り返りながら、その時間の学びを自覚させるだけでなく、次の学習への見通しをもたせていきます。例えば、「事実と筆者の考えのつながり」について問いを立てて解決に取り組んでいる子供が、次のような振り返りを書くことが期待できます。

今日は、「事実と筆者の考えのつながり」について考えました。事実と筆者の考えのそれぞれを区別してつかむことはできたけれど、どの事実と考えのどこがつながっているかまでは、はっきりしませんでした。だから、次の時間は、「つながり」を明らかにしたいです。

そして、その納得がいくか否かという判断の拠り所は、既習教材を用いて実際に要旨を捉えた体験であり、教師が作成したモデルです。学習課題を具現化している「教師が作成したモデル」や体験的に要旨を捉えた際に共有された「事実と筆者の考えとのつながり」や「文章全体の構成」、「繰り返し使われる表現」等のポイントは、教室に掲示しておくことで、子供たちがいつでも振り返ることができるようにしておくといよいでしょう。

アイディア②

問いの解決に取り組む中で、
教材や他者との対話を促す

対話的な学び

第二次では、学習課題を達成するための問いを各自が立て、その解決に取り組む学習過程とします。その中で、どうしても納得のいく解決につながらない場合は、同じ困りごとをもっている子供たち、あるいは全体で困りごとを共有し、みんなで考えるということも大切になるでしょう。

例えば、前述の「『つながり』が見えない」という困りごとを取り上げ、全体で解決に取り組むことで、次のような対話が生まれることが期待できます。

〈困りごと〉

事実と筆者の考えのつながりが分からないから「解説書」に書くことができない。どこがどうつながっているのだろう。

「想像力は、私たちが育ててきた自然や生活と深く関わっているのだ」とつながる事実ってどこだろう？

同じ形に対してつけられる名前がちいさきによってちがうって、いう事実とつなげて考えることができそうじゃない？

確かに、私たちも普段の生活の中で、「○○みたい」って言う時に、自分の好きなものなど知っているものに例えるよね。それと似ていて、想像力って自分の生活とかと関係ってることじゃない？

このような対話を通して、書かれてある文章の全てが大切なのではなく、筆者の考えにつながる事実（ここでは、「同じ形に対してつけられる名前が地域によって違う」という事実）やつながり（ここでは、「想像力と自然や生活とのつながり」）について学び、それらを要旨の中に取り入れることの重要性に気付いていくことが考えられます。



5年 7月 国語科

領域 B書くこと
単元名

我が町のSDGs実現
に向けた取組を調べて
報告する文章を書こう
教材名「みんなが過ごしやすい町へ」

光村図書

執筆 神奈川県川崎市立東小倉小学校教諭

編集委員 茨城大学教育学部附属中学校副校長

文部科学省教科調査官

伊東有希

菊池英慈

大塚健太郎

年間指導計画

4/5月	なまえつけてよ きいて、きいて、きいてみよう
6/7月	見立てる みんなが過ごしやすい町へ
8/9月	たずねびと よりよい学校生活のために 固有種が教えてくれること
10/11月	あなたは、どう考える 想像力のスイッチを入れよう この本、おすすめします
12/1月	提案しよう、言葉とわたしたち 大造じいさんとガン

1 単元で付けたい資質・能力

①身に付けたい資質・能力

目的や意図に応じて、書くことを選び、分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にする力、および必要な資料を引用するなどして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する力を育成します。

②言語活動とその特徴

「調べて分かったことを、背景や経緯を含めて報告する文章を書く」という言語活動を位置付けます。調べたことを基に報告する文章を書く活動は、中学年でも経験しており、すでに多くの児童が、報告する文章に必要な構成を知っていると考えられます。そこで、本単元では中学年で身に付けた「知識及び技能」や「思考力、判断力、表現力等」の資質・能力、言語活動の経験を活用させながらねらいとする資質・能力の育成を目指します。特に、次の二つが指導の重点になります。一つは、手元の情報を関係付けながら、新たに取材すべきことは何か、取材を通して何が見えてきたのか、何を伝えるとよいのかをはっきりさせることです。もう一つは、報告するために、どの資料をどのように引用すると分かりやすいのかを考え、工夫することです。

題材は、「自分が調べて明らかにしたことを、みんなに知ってもらい

たい」と思えるものを設定することが重要です。校内行事や総合的な学習の時間の学習等で、児童が必要感をもって取り組んでいる題材があれば、時期を工夫し、積極的に関連を図るとよいでしょう。

指導事項 「知識及び技能」(1)カ

(思考力、判断力、表現力等) B(1)ア、エ 言語活動例 ア

2 単元の展開(8時間扱い)

主な学習活動

次	時	展開
1	2	<ul style="list-style-type: none"> ◎学習課題を設定し、学習計画を立てる。 総合的な学習の時間と関連させ、自分が探究して明らかになったことを書いて報告するという見通しをもつ。 モデル文を分析し、既習の報告文の特徴との異同を見いだす。 既習と関連付けて、学習計画を立てる。(アイデア①) <p>学習課題 町のSDGs実現に向けた取組を調べて報告しよう。</p>
2	3~7	<ul style="list-style-type: none"> ◎報告に必要な内容を検討して取材し、報告する文章を書く。 総合的な学習の時間に調べた情報カードを分類したり関係付けたりしながら、伝えたい内容を明確にするとともに、追加で取材すべきことや取材方法を検討する。(アイデア②) 追加の取材で分かった内容を含めて、情報カードを並べ替え、構成を考える。 明らかになったことが分かりやすく伝わるように、どの資料をどのように引用するとよいかを考え、記述する。(アイデア③)
3	8	<ul style="list-style-type: none"> ◎報告する文章を読み合い、感想を伝え合う。 内容や引用の仕方に注目して感想を伝え合う。

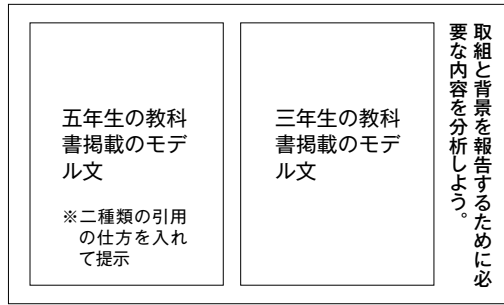
アイディア①

既習との比較を通して、
付けたたい力を明確にする

深い
学び

学習課題を立てたところで、モデル文を分析し、必要な内容や手順を既習の内容を基に考えさせます。モデル文を分析する際には、下の学年の教科書の報告文モデルと横に並べて比較する活動を行うことも効果的です。

〔黒板例〕(ワークシートも同様)



取組と背景を報告するために必要な内容を分析しよう。

組み立ては同じだね。

引用しているのに、「」でくくっていないところがあるよ。なぜだろう。

三年生のときに書いた報告文と比べてみましょう。



特に、引用の仕方については、短めの文や文章をかぎ(「」)でくくって示している箇所と、行を空けて文頭の位置を下げることで、文章を長く引用している箇所の二つがあることに着目させます。なぜ、二種類の方法が使われているのかを考えさせることで、自分の意図に合った引用の仕方を考えながら、書き表し方を工夫できるようにしていきます。

アイディア②

他者の視点を入れながら、
伝えたい内容を検討する

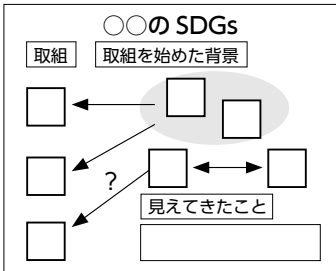
対話的
な学び

取材そのものは総合的な学習の時間で行うこととし、国語の時間では、報告文の組み立てをイメージしながら、伝えたい内容を明確にすることを中心に活動を設定します。インターネットで簡単に調べて分かる内容であれば、あえて文章で報告する必要はありません。ほかならぬ自分だからこそ明らかにできたことは何か、なぜそこを伝えるとよいのかをはつきりさせることで、目的意識をより強く働かせて書くことができます。

報告文は、最終的には一人で書き上げますが、学習の各過程で友達との対話の場を設定することが効果的です。伝えたい内容が焦点化できているかどうか、必要な情報がそろっているかどうか、不足している情報があるならば、どの方法で追加の取材を行うとよいかといったことについて、友達に開示し、意見をもらうようにします。ただし、もらった意見を反映するかどうかは、あくまで自分自身が決めることです。自分が検討した内容について、「他者の



三つ目の取組を始めた理由を確かめたんだけど、インタビューで大丈夫かな？



いいと思うよ。この取組だけ、始めた理由が違ってこと？そこを知りたいな。

視点からはどのように見えるのかを確かめる」ことが目的であることを、はつきり伝えましょう。

アイディア③

自分の文章に合った引用の仕方を具体的に考え、記述する

主体的
な学び

どこでどの資料を引用するかは、構成の段階である程度決めていきますが、実際にどのくらいの分量を引用するのか、図表と対応させながらどのように書き表すかなどについては、記述の段階で具体的に考えることとなります。

例えば、取組の概要は、ウェブサイトや企業が発行している冊子から文章を引用し、取組の背景については、インタビューした内容を引用して説明を加えるということもあるでしょう。

また、図表そのものを引用するのか、自分で作成した図表を載せるのかによっても記述の仕方が変わってきます。

モデル文を分析したときには立ち上がらなかつた記述に関する具体的な疑問が、いざ文章化する段階になって初めて浮かんでくる児童もいるでしょう。「書くことは考えること」と言われるように、書き進める中で考えが深まっていくのは当然の流れです。そんなときこそ教師の出番です。

例えば、「書いていて困ったこと」を共有し、引用の仕方に着目して下書きを読み合う時間をとる、相談コーナーを設置して、聞きたいことが出たら自由に移動できる場をつくる、振り返りに困ったことや確かめたいことを書くことを促し、教師が個別に関わるなど、児童の問題意識に応じた教師の関わりが、一人一人の粘り強い取組や工夫を後押しします。

5年 6月 算数科

単元名 小数のわり算

執筆 新潟県新潟市立首根小学校教諭 久道 知弘
編集委員 文部科学省教科調査官 笠井 健一
新潟県新潟市立新津第一小学校校長 間嶋 哲

年間指導計画

4/5月	直方体と立方体の体積 小数のかけ算
6/7月	小数のわり算
8/9月	合同な図形 整数の性質 (偶数・奇数、倍数・約数) 分数のたし算とひき算
10/11月	平均・単位置あたりの大きさ 図形の面積
12/1月	割合 帯グラフと円グラフ (主に活用に視点をおく)
2/3月	正多角形と円 角柱と円柱

本時のねらいと評価規準 (本時の位置 本時2 / 11時)

ねらい わる数が小数の除法について、数直線を用いて数を構成する単位に着目したり、除数及び被除数に同じ数をかけても商は変わらないことを利用したりして、計算の仕方を理解することができる。

評価規準 数直線を用いて、被除数を整数にするための方法を説明している。

問題場面

1.8L で
360 円 の
ジュースが
あります。
1Lあたり
何円かな。



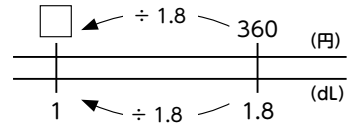
ポイント 2Lの時の立式から、類推的な考えを導く。

T: 式はどうなるかな。

C: もし2Lなら $360 \div 2$ だから、 $360 \div 1.8$ で求められるよ。

T: 数直線を使って説明できますか。

C: 右図のようにになるので、1Lあたりを求めるために、 $360 \div 1.8$ という式になると思います。



本時の学習のねらい わる数が小数のわり算は、どのようにして計算すればよいか。

見通し

T: 小数のかけ算のときは、どのように考えていたかな。

C: かける数を整数にするために、かける数を10倍したら、その後で10分の1にしました。

C: それなら、同じように小数のわり算も、わる数を整数に直したらできそうだよ。

T: 整数に直すためには、どうしたらよいだろうか。



小数のかけ算と同じように計算したらできそう。



LをdLの単位に直せば、そのまま計算できそう。



わり算のきまりを使って、わられる数とわる数を10倍したらできそう。

自力解決の様子

A つまずいている子

- わる数を10倍して整数に直した後、答えを10でわっている。
- わられる数とわる数を10倍した後、答えを100でわっている。

B 素朴に解いている子

1dLあたりで考え、その後、1Lあたりに戻すために10をかけている。

C ねらい通り解いている子

わる数・わられる数を、それぞれ10倍して整数÷整数に直して計算している。

学び合いの計画

見通しで除数を整数にするとよさそうなことを確認することがポイントです。ここから、自力解決ではどのようにして除数を整数にするかを考えさせます。小数の乗法と同様に、除数を10倍し、その後で答えを1/10したり、被除数と除数を10倍し、その後で答えを1/100したりする児童がいたら、その場で修正させず、全体での検討場面で共感・

修正させる活動を設定します。導入場面で数直線をかかせて式の確認をし、自力解決の場でも使えるよう話しておきます。数直線は、式の操作の意味を考えさせるために有効です。

また、交流場面では、どのようにして除数を整数にしたのかを視点として与え、取り組ませるようにします。

ノート例

○月○日

〈問題〉
1.8 L で360円のジュースがあります。1 L あたり何円かな。

式 $360 \div 1.8$

わる数が小数……できるかな。

〈課題〉
わる数が小数のわり算は、どのようにして計算すればいいかな。

〈見直し〉
小数のかけ算のように、わる数を整数にすればよさそう。

〈自分の考え〉
1.8 L を整数にするために18dL で考えました。

1dL あたり20円なので、10倍して1 L あたり200円。

〈友達の考え〉
 $360 \div 1.8 = 2$
 $\times 10 \downarrow$
 $3600 \div 18 = 200$

小数のかけ算と同じように。

$\div 100$ しちゃうと、0.01 L あたりのねだん!

$360 \div 1.8 = 200$
 $\times 10 \downarrow$
 $3600 \div 18 = 200$

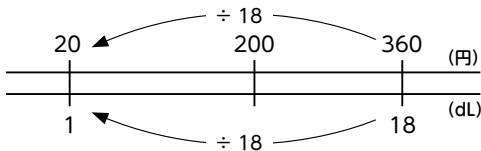
このままでいい。

〈まとめ〉
わる数を整数にするために、わる数を10倍した後で答えを10倍したり、わる数とわられる数を、そのまま10倍（わり算のきまり）したりすればよい。

〈感想〉
わる数を10倍したら商は小さくなるから、答えを10倍しないといけないことが分かりました。

全体発表とそれぞれの考えの関連づけ

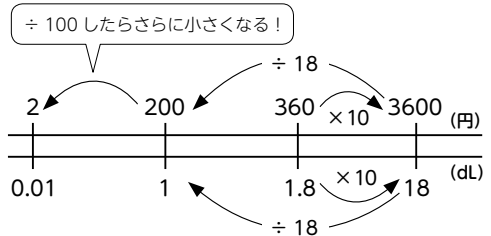
- C: わる数を整数にしたいので、わる数を10倍して計算し、その後で10でわると、答えは2円になりました。
- C: 小数のかけ算と同じようにしているね。でも、答えが1Lで2円では、小さすぎる気がします。
- T: こう考えた友達の気持ちが分かるかな。数直線だとどうなるかな。
- C: わる数を整数にしたいから、1.8Lを18dLと考えると計算すれば、1dLあたりの代金が出てくるから、次に1Lあたりの代金を求めるために10をかければよい。



T: 「 $360 \div 1.8$ 」を「 $3600 \div 18 = 200$ 」としてから、次に $200 \div 100 = 2$ (円) と求めて

いたお友達がいたよね。この人の気持ちは分かるかな。

- C: ああ、分かる！ 小数のかけ算のときも、かけられる数とかける数を10倍して、最後に $\div 100$ したから。
- C: でも、数直線で表すと、右図のようになるから、もし最後に $\div 100$ しちゃうと、0.01Lあたりの代金になるよ。
- C: $\div 100$ しなくても、数直線を見ると両方10倍しても答えは変わらないから、答えはやっぱり200円だよ。



学習のねらいに正対した学習のまとめ

わる数を整数にするために、わる数を10倍した後で答えを10倍したり、わる数とわられる数を、そのまま10倍（わり算のきまり）したりすればよい。

本時の評価問題

1.5Lで240円のジュースがあります。1Lのねだんは何円になりますか。

【子供に期待する解答の具体例】

- わる数10倍して計算し、その後答えを10倍して求めると、 $240 \div 1.5$ は、 $240 \div 15 \times 10 = 160$ (円)。
- わられる数と、わる数をそれぞれ10倍して求めると、 $240 \div 1.5$ は、 $2400 \div 15 = 160$ (円)。

感想例

- わる数を10倍したら商は小さくなるから答えを10倍しないといけないことが分かりました。
- わる数を整数にするために単位を変えれば、1.8Lを1dLが18個分と考えられていいなあと思いました。

5年 7月 算数科

単元名 合同な図形

執筆 新潟県新潟市立上所小学校教諭 二瓶 亮
編集委員 文部科学省教科調査官 笠井 健一
新潟県新潟市立新津第一小学校校長 間嶋 哲

年間指導計画	
4/5月	直方体と立方体の体積 小数のかけ算
6/7月	小数のわり算 合同な図形
8/9月	整数の性質（偶数・奇数、倍数・約数） 分数のたし算とひき算
10/11月	平均・単位量あたりの大きさ 図形の面積
12/1月	割合 帯グラフと円グラフ（主に活用に視点をおく）
2/3月	正多角形と円 角柱と円柱

本時のねらいと評価規準（本時の位置 3 / 7時）

- ねらい** 合同な三角形をかくためには、すべての構成要素を用いる必要がないことを理解し、合同な図形をかく。
- 評価規準** 合同な三角形をかくためには、1つの辺の長さや、あと2つの構成要素を用いればかくことができることを理解し、合同な三角形を作図する。

問題場面

三角形ABCと合同な三角形を作図しましょう。

ポイント

辺の長さや角度など、数値は一切示さずに提示する。作図に必要な要素について、子供から引き出ししていく中で作図のイメージを膨らませていく。

- T: どんな情報がほしいですか。
C: 辺の長さや角度が知りたい。
T: では、辺BCの長さだけ教えてください。
C: まだ足りないよ。それだと頂点Aの位置が決まらない。
- T: 頂点Aの位置を決めるには、あといくつかの情報が必要ですか？
C: あと3つか4つあればかけると思う。
C: あと2つ知りたい。

本時の学習のねらい 合同な三角形を作図するには、辺BCの他に、あといくつかの条件が必要だろうか。

見通し

- T: 2つや3つ、4つと言っている人がいますね。どうしてあと1つではできないのですか？
C: それだと頂点Aの位置がはっきりと決まらない。たとえば、辺ABの長さが分かったとしても、どんな角度（角B）で辺ABを引けばいいのか分からない。
C: もし角度を教えてもらっても、辺の長さが分からないと、どこまで引くのが分からない。
- C: そうそう。だから、辺の長さや角度を1つずつ教えてほしいな。
C: 別のかき方もできそうだよな。コンパスを使えば……。辺の長さをあと2つ知りたいな。
T: 三角形ABCの図を渡します。自分で必要だと思う条件を選んで作図しましょう。合同な図形を作図する際に、どの辺の長さや角の大きさを使ったのかをノートに残しておきましょう。

自力解決の様子

A つまづいている子

2つの辺の長さや、2つの底角の大きさなど3つ以上の条件を使ってかく。

B 素朴に解いている子

合同条件ではない3つの条件を使ってかく。

C ねらい通り解いている子

3辺の長さ2辺とその間の角1辺とその両端の角といった合同条件を使ってかく。

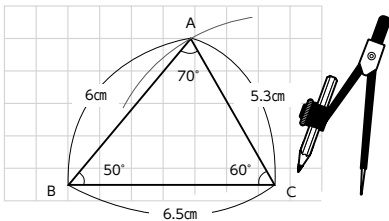
学び合いの計画

自力解決の途中で考えが止まったり誤った考えをしたりしている子がどこで困っているのかを全体で解釈したい。一度作業を止め、その考えのまま作図すると、どんな困ったことが起きるのかについて全体で考える場を設ける。

全体発表では、Aの考え（反対側の辺を作図するために角度を測る）を採り上げる（出なかった場合は教師から提示すること、作図の必要条件について吟味する方向付けをする）。

全体発表とそれぞれの考えの関連付け

- T：作図方法を紹介してください。（Aのような考えを採り上げる）
- C：まず左の辺から作図します。50°を測って6cmの線を引きます。次は、右の角度60°を測って……。
- C：えっ？右の角度は測る必要ないんじゃない？
- C：そっか。頂点Aの位置はもう決まっているね。
- C：頂点AとCを結ぶだけでいいんだ。
- T：今、作図に使ったのはどこの部分ですか？
- C：角Bと辺AB、元々あった辺BCの3つだね。
- C：私は角Bと辺ACを使って作図できたよ。（Bのような考えを採り上げる）（もし子供から出ない場合は教師が提示してもよい）
- T：ノートに作図してみましょう。

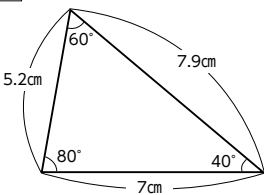


本時のねらいに正対した学習のまとめ

合同な三角形の作図には、1つの辺（辺BC）の他にあと2つの条件が必要。

本時の評価問題

次の三角形と合同な三角形を作図しましょう（作図に用いた部分に印をつけましょう）。



ノート例

7月○日 No.○○

三角形ABCと合同な三角形を作図しましょう。あと4つ？

これは作図できない……

合同な三角形を作図するには、辺BCの他に、あといくつの条件が必要だろうか。

①あと1つでは×

②辺BCとあと4つ！

③もう頂点Aの位置は決まっている！

④辺は結ぶだけでOK！

⑤辺BCとあと2つ、辺ABと角B

⑥反対側の長さを使うと、(辺AC) 2パターンの図形ができてしまう……

⑦いまいち……？

⑧1つの辺（辺BC）の他にあと2つ必要

⑨私は4つの条件を使っていたけれど、あと2つでよかった。たしかに、結べばいいだけだと気付いた。

- C：本当だ。できた。
- C：できたけれど、辺ACを5.3cmにしたのに角Cが60°にならない。
- C：この方法だと2パターンの作図ができてしまうってことだね。
- ※ 他の作図方法についても同様に全体で確かめる。
- T：辺BCの他にいくつの条件が必要でしたか？
- C：どれも辺BCの他にあと2つ必要。つまり合同な三角形の作図には3つの条件が必要だったこと。
- T：3つの条件ということは、3つの角の大きさを使えば合同な三角形を作図できるでしょうか？
- C：それは無理だと思う。そもそも辺がないと角を作ることができないよ。
- C：角度だけだと、小さい三角形になったり大きい三角形になったりするんじゃないかな？

感想例

合同な三角形の作図は3つの条件でかくことができると分かりました。私は最初5つの条件で作図をしていたのですが、○○さんの発言を聞いて、頂点Aの位置が決まっているから反対側は測る必要がないと気付きました。

5年 6月 体育科

単元名 打って！ 守って！ ティーボール

～ボール運動 ベースボール型～

執筆 北海道札幌市立幌南小学校教諭
編集委員 国立教育政策研究所教育課程調査官
北海道札幌市立幌南小学校校長

余田 峻也
塩見 英樹
大牧 真一

年間指導計画

4/5月	体づくり運動 (体の動きを高める運動) 陸上運動
6/7月	ボール運動
8/9月	水泳運動 器械運動(鉄棒運動) 陸上運動
10/11月	器械運動(マット運動) 体づくり運動 (体の動きを高める運動)
12/1月	器械運動(跳び箱運動) ボール運動(ゴール型)
2/3月	表現運動 ボール運動(ネット型)

授業づくりのポイント

高学年のボール運動は、ルールや作戦を工夫したり、集団対集団の攻防によって仲間と力を合わせて競い合ったりする楽しさや喜びを味わうことができる運動です。ベースボール型の実施に当たっては、どの子供も取り組みやすいように、場の設定やルールを簡易化することが大切です。

今回取り扱うティーボールは、止まっているボールを打つため、空振りが少なく、短時間で全員が「打つ、捕る、投げる、走る」を楽しく味わうことができます。ティーボールは、攻撃側の走者が速いか、守備側のボールを送るプレーが速いかを、特定の塁上で競い合うことが楽しいゲームです。本単元では、前半で攻撃側、後半で守備側の動きに焦点化し、作

戦の選び方や課題の解決の仕方がイメージできるようにしていきます。攻撃側はどこに打ったら多くの進塁(得点)ができるのか、守備側はチームで守りの隊形を工夫して打者をどのようにアウトにするのかなど、ゲームや練習の中で互いの動きを見合ったり、助け合ったりしながら協働的に課題を解決していく姿を目指します。

なお、授業を行う際には、新型コロナウイルス感染症対策として、子供たちに授業前後の手洗いを徹底するように指導しましょう。活動中は地域の感染レベルに応じて、適切な身体距離を確保するようにしましょう。

楽しもう 「ゲームでたくさん得点を取ろう」【攻撃】

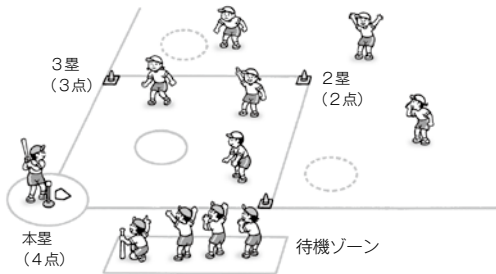
子供がゲームで味わえる楽しさの一つは、得点を取ることです。そのため、単元の前半は、打つ、捕る、投げるといったボール操作に慣れるとともに、ゲームでの攻撃の仕方に焦点を当てます。例えば、同じチーム内でペアの仲間を決め、打球の方向やボール

の飛び方(ゴロまたはフライ)、相手の守備位置、得点数などを学習カードに記録します。その結果をペアで話し合うことで、打ち方や打つ方向、走塁の仕方などに目を向け、より多くの得点を取るための方法を考えられるようにします。

場の設定の例

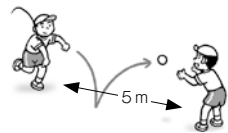
- 1チーム5～7人程度。
- 塁間は、10～15m程度。

※外野のアウトサークルは、単元後半に追加する。



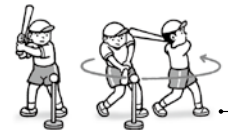
基本的なボール操作の技能を高める運動

○キャッチボール(投げる、捕る)



ワンバウンドさせたボールをキャッチする。慣れてきたらノーバウンドでも行う。

○バッティング(打つ)



体の真ん中より前の方にティーを置くことで、強く打てるようにする。



ペットボトルの底を切り取り、コーンの上に置くとティーとして代用できる。

ルール例

- ①打者は、ティーの上に置いた止まったボールを打つ。
- ②フェアゾーンに入らない場合は、何回でも打ち直すことができる(三振はなし)。
- ③打ったら走塁し、アウトになるまで進塁できた所が得点になる(1塁=1点、2塁=2点、3塁=3点、本塁=4点)。
- ④チーム全員に打順が回ったら攻守を交代する。2～3回ずつ(イニング)行う。
- ⑤守備側は、捕ったボールをアウトサークルにいる人に向かって投げ、捕球した時点でアウトになる(フライを直接捕った場合でも、サークル内に返す)。

<安全面への配慮>

※攻撃側は、バットを振った後、その場に置くように指導する。また、味方の応援などをしながら順番を待つ際、打者から離れた場所で行うようにする(待機ゾーンを設置する)。

※守備側は、内野のアウトサークルより前に出て、打者に近付いて守備をしないようにする。

単元計画

	1	2	3	4	5	6
学習課題	ゲームの行い方を知ろう。	打ち方を工夫し、たくさん得点を取れるようにしよう。		守りの隊形や素早くアウトにするための守り方を考えよう。		作戦を生かして、ゲームをしよう。
0	<p>●準備運動</p> <p>●オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習の進め方を知る。 バットの持ち方やボールの投げ方、捕り方を知る。 <p>●安全に関する指導</p> <ul style="list-style-type: none"> 攻撃側の子供の待機する位置など。 <p>●試しのゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本のルールを確認する。 	<p>【準備活動】</p> <p>●準備運動 ●キャッチボール ●フリーバッティング</p> <p>●課題を見付ける活動（ゲーム①）</p> <ul style="list-style-type: none"> チーム内でペアをつくり、仲間のバッティングの結果を学習カードに記録する。 記録したカードを基に、見付けた課題を仲間に伝える。 <p>得点を増やすにはどうしたらいいかな？</p> <p>●課題を解決するための練習</p> <ul style="list-style-type: none"> 狙った方向へ打てるようにしたい。→方向を意識したフリーバッティング 遠くに打てるようにしたい。→ホームラン競争 走塁がうまくなりしたい。→ベースランニング競走 <p>●ゲーム②（2～3イニング制） ※子供の実態に応じてルールを設定する。</p>		<p>●課題を見付ける活動（ゲーム①）</p> <ul style="list-style-type: none"> アウトサークルを2つ追加したルールで、ゲームを行う。 <p>※教師は、打球が外野に飛んだ場合の例を示し、素早くアウトにするための連携方法に着目できるようにする。</p> <p>素早くアウトするにはどう守ればいいのか？</p> <p>●課題を解決するための作戦の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 打球が飛んだ方向に合わせてアウトにする場所を決めよう。 アウトサークルに遠い場所で捕球した時には、中継をしよう。 アウトサークルの後ろでカバーをして後ろに逸らさないようにしよう。 		<p>●準備運動</p> <p>●作戦タイム</p> <ul style="list-style-type: none"> 打順や守備隊形などチームで作戦を立てる。 <p>●ゲーム（1回目）</p> <ul style="list-style-type: none"> チームの作戦を基にゲームを行う。 <p>●作戦タイム</p> <p>●ゲーム（2回目）</p> <ul style="list-style-type: none"> 対戦相手を変えて行う。
45分	●振り返りの活動（学習カードに課題を解決するために考えたこと、ゲームの結果等を記入する）					

もっと楽しもう 「守りの作戦を決めてゲームをしよう」【守備】

単元の後半は、守備の仕方に焦点を当てます。アウトサークルの数を1つから3つに増やすことで、どのサークルでアウトにするかなど、チームとして守備の隊形やサークルを選ぶ際の判断の仕方を工夫していくことを促します。また、状況に応じてボー

ルを中継したり、送球が逸れる場合に備えてサークルの後方でカバーをしたりするなどの動きに目を向けていくことも効果的です。これらの活動により、自己やチームの特徴に応じた作戦を選んでゲームを楽しめるようにしていくことが大切になります。

課題を見いだす手立てとなる学習カードの例

〈ペアの名前〉

〈守備位置〉

〈1打席目〉
打球…
点数…
〈気付いたこと〉

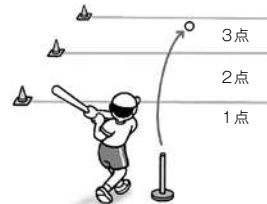
〈2打席目〉
打球…
点数…

①相手の守備位置を図の中に○で記入する。
②ペアの中間の打球がどこに飛んだのかを矢印で記入する。
③ボールの飛び方（ゴロまたはフライ）を記述する。
④どの塁まで進むことができたか（点数）を記録する。
⑤ペアの中間の動きのよさや課題など、気付いたことを記入する。

課題を解決するため練習（ミニゲーム）の例

得点を増やすための練習

○ホームラン競争



点数を決め、どこまでボールが飛ぶかを競う。

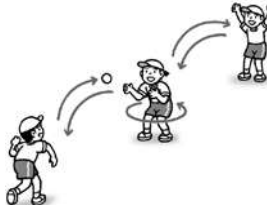
○ベースランニング競走



本塁と2塁に分かれ、塁間を全力で1人1周するリレー。

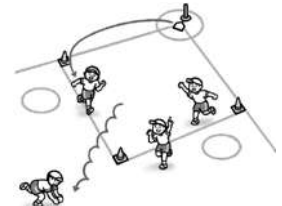
得点を防ぐための練習

○3人組キャッチボール



1分間に何回投げることができるとかを競う。

○少人数での守備（サークル2つ）



3人で守り、中継したり、後方でカバーしたりして、素早くアウトにする。

5年 7月 体育科

単元名 ゆったりストロークで、 記録が伸びる！ ～水泳運動～

執筆 北海道札幌市立幌西小学校教諭 大藪 真也
編集委員 国立教育政策研究所教育課程調査官 塩見 英樹
北海道札幌市立幌南小学校校長 大牧 真一

年間指導計画	
4/5月	体づくり運動 (体の動きを高める運動) 陸上運動
6/7月	ボール運動 水泳運動
8/9月	器械運動(鉄棒運動) 陸上運動
10/11月	器械運動(マット運動) 体づくり運動 (体の動きを高める運動)
12/1月	器械運動(跳び箱運動) ボール運動(ゴール型)
2/3月	表現運動 ボール運動(ネット型)

授業づくりのポイント

高学年の水泳運動は、「クロール」、「平泳ぎ」および「安全確保につながる運動」で構成され、続けて長く泳いだり、泳ぐ距離や浮いている時間を伸ばしたり、記録を達成したりする楽しさや喜びを味わうことができる運動です。

5年生になり、初めてクロールや平泳ぎを学習する子供がほとんどです。そのため、指導に当たっては、中学年までの学習を踏まえ、手と足の動かし方や呼吸動作などの基本的な技能を身に付けることを目指します。また、自己やグループの課題を見付け、その解決のための活動を工夫するとともに、水泳運動の心得を守って安全に気を配ることなどができるように指導することも大切です。

本単元では、主にゆったりとしたクロールや平泳ぎを取り扱い、1ストロークで進む距離が伸びるようにするなどして、大きく伸びのある泳ぎを目指します。

また、今回の学習指導要領の改訂で、新たに内容に示された「安全確保につながる運動」にも、毎時間取り組むこととし、背泳ぎや浮き沈みをしながら、タイミングよく呼吸をしたり、手や足を動かしたりして、続けて長く泳ぐことができるようにします。

水泳運動の授業における新型コロナウイルス感染症対策として、更衣室やプールサイドでの密集を避けたり、教え合いをするときには、地域の感染状況に応じて、特定のペアで短時間での活動としたりするなどの配慮を行いましょう。

楽しもう 「ゆったりとした泳ぎで泳いでみよう！」

ペアでの学習(バディシステム)を取り入れ、自己の課題を見付けるとともに、自己や仲間の考えたことを伝え合いながら解決を目指す活動を位置付けます。単元の前半では、ゆったりとしたクロールや平泳ぎで泳ぐことに取り組みます。

泳ぐ際のポイントには、①手の動き②呼吸(息継ぎ)③足の動き(ばた足やキック)があります。1回のストロークの中で3つのポイントに着目し、ペアの仲間にできているかどうかを確認してもらうことで、

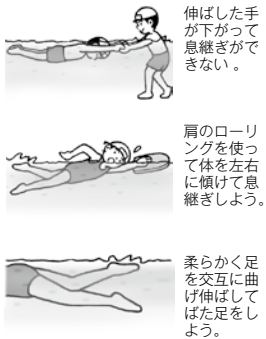
自己の課題を見付けていきます。課題に応じた練習に取り組む際は、一定の距離を何回のストロークで泳げるようになったか記録していくことで、自分やペアの仲間の伸びを実感することができます。

また、ペアでの学習は、事故防止の上でも有効です。感染リスクに十分注意するために、互いに手をつないだり、密着して座ったりすることはせず、身体的距離を十分に確保しつつ、同時に挙手してお互いを確認するなどの工夫をすることが考えられます。

自己の課題を見付けるポイントと練習方法の例

○クロールの練習方法

- 補助具を使って片手を必ず前方で揃えてから、片手ずつ動かす練習
- 仲間に手を引っ張ってもらい、前方に手を伸ばす練習
- 歩きながら息継ぎの練習
- 補助具を使い、横向きの息継ぎをする練習
- ゆっくりと動かすばた足をする練習



課題を見付けるポイント

↓

手の動き

伸ばした手が下がって息継ぎができない。
息継ぎが続かない。

↓

呼吸(息継ぎ)

肩のローリングを使って体を左右に傾けて息継ぎしよう。

↓

足の動き(ばた足)(キック)

1ストロークの距離が伸びない。

○平泳ぎの練習方法

- ひじを曲げながら円を描くように左右に開き、水をかく練習
- 水中を歩きながら仲間に息継ぎのタイミングを助言してもらって練習
- プールサイドに腰かけて脚の内側で水を挟む動きの練習
- 壁や補助具につかまって仲間に足を支えてもらう練習
- 1ストロークだけ「かいて、蹴って、伸びる」の一連の動作をしたら立つ練習



プールサイドで正しい体の動かし方を学んでから、水中を歩きながら→補助具を使って→ペアの仲間による補助、というようにステップで練習することも効果的です(ペアでの学習は、地域の感染状況に十分配慮してください)。

単元計画

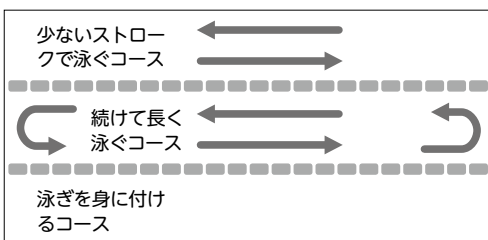
	1	2	3	4	5	6	7	8
学習課題	水泳運動の行い方を知り、学習の見通しをもとう。	クロールの基本的な泳ぎ方を理解しよう。	平泳ぎの基本的な泳ぎ方を理解しよう。	自己や仲間の課題を見付け、その課題の解決の仕方を考えたり、課題に応じた練習方法を選んだりして泳ごう。 ※「クロール」と「平泳ぎ」の2泳法に並行して取り組む。				これまでの学習を生かし、自分の設定した記録を達成しよう。
0	<p>●安全に関する指導</p> <p>●オリエンテーション ・学習の進め方を知る。</p> <p>●準備活動</p> <p>●自分の泳力を確かめる</p>							
	<p>【準備活動】○準備運動 ○シャワー ○入水（足からお腹へと少しずつ心臓に近い位置へ水をかけながら）</p> <p>【初歩的な泳ぎや今できる泳ぎ】 ・け伸び ・水面に顔を付け手足を動かして進む泳ぎ ・ばた足やかえる足泳ぎ</p> <p>【安全確保につながる運動】 ポビング</p> 							
	<p>○クロールの練習</p> <ul style="list-style-type: none"> ひざを伸ばしてのばた足 手を大きく回す 手や足の動きに合わせた呼吸 	<p>○平泳ぎの練習</p> <ul style="list-style-type: none"> かえる足 手のかき 手や足の動きに合わせた呼吸 	<p>○課題を見付ける活動（クロールと平泳ぎ）</p> <ul style="list-style-type: none"> 2人一組になり、①手の動き、②呼吸、③足の動きができていくかどうかを見合って確認する。 <p>ゆったりとしたクロールや平泳ぎで泳ぐにはどうしたらいいかな？</p> <p>○自己や仲間の課題に応じたクロールの練習方法を選ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> 前方に伸ばした手が下がり、手のかきに呼吸が合わない。 →両手を必ず前方で（ビート板に）揃えて、片手ずつかく練習 →仲間に手を引っ張ってもらい、より前方に手を伸ばす練習 →頭が前方に上がり、横向きの息継ぎができない。 →歩きながら息継ぎの練習 →へそを見るようにして顎を引き、耳まで浸かって息継ぎをする練習 <p>○自己や仲間の課題に応じた平泳ぎの練習方法を選ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> かえる足の動きがうまくできない。 →脚の内側で水を挟む練習 ・手や足の動きと呼吸のタイミングが合わない。 →水中で歩きながらペアの仲間が息継ぎのタイミングを助言する ・キックの後にすぐに手をかいてしまい、伸びるのが難しい。 →「かいて、蹴って、伸びる」の一連の動作で一度立つ練習 			<p>○課題を見付ける活動（クロールと平泳ぎ）</p> <ul style="list-style-type: none"> 2人一組になり、ペアの仲間に目標とする距離と、大事にしたいポイントを伝える。 ・泳ぎを見合い、見付けた課題をペアの仲間に伝える。 <p>もっと長く泳ぐにはどうしたらいいかな？</p> <p>○自ら選んだ泳ぎ方で、自己や仲間の能力に応じた記録への挑戦の仕方を選ぶ（クロール）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビート板を足で挟むなど、手のかきだけで泳ぐ練習 ・決められたストローク数で泳ぐ距離を仲間と競う練習（平泳ぎ） ・ビート板などの補助具を抱え、キックだけで水を蹴る感覚をつかませる ・決められたストローク数で泳ぐ距離を仲間と競う練習 		
45分	<p>※スタートでは頭を水の中に入れてから壁をけるように指導する。 ※スタートしてしばらくはけ伸びの姿勢を保つように指導する。</p> <p>振り返り活動（可能であれば、学習カードに課題を解決するために考えたことや、仲間のよい動き等を記入する）</p>							

もっと楽しもう 「もっと長く泳ぐことができるかな？」

単元の後半は、25～50m程度を目標に、泳ぐ距離を伸ばすことを目指していきます。続けて長く泳ぐために、より大きくゆったりとした泳ぎができるようにしていきます。これまでの学習を生かし、自己の課題に合わせて練習の場を選びます。自分で選

んだ泳ぎ方で、目標として設定した距離を泳いだり、決まった距離でのストローク数に挑戦したりしていくことで、水泳運動の楽しさや喜びを味わえるようになります。

平泳ぎの練習 場の設定例



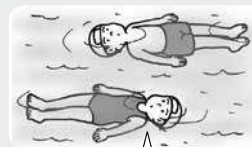
協働的に解決するために

課題の解決に向けて練習する際は、ペアの仲間に自己の課題を伝えるようにします。泳ぐポイントやストローク数など、見る視点をはっきりさせることで、互いにアドバイスしやすくなります。仲間と動きのポイントを確かめたり、呼吸のタイミングや体の動かし方を口伴奏で確認したりする方法も効果的です。

「安全確保につながる運動」について

安定した呼吸の獲得を意図し、背浮きや浮き沈みをしながら、続けて浮くことができるようにします。「クロール」や「平泳ぎ」の苦手な子供でも、続けて浮くことや、呼吸を確保していくことを目指すなど、課題をもって取り組むことができます。

- 10～20秒程度を目安にした背浮き
- 3～5回を目安にした浮き沈み



耳を水中に入れ、体をまっすぐに！



両膝を抱えておへそを見るように！